

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月3日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		限りあるスペースを有効活用できるような工夫をしています。また、使いやすさを考慮し、活動・学習・食事のスペースを分けて使用しております。	活動・学習・食事のスペースを分けて明確にすることで、落ち着いて療育が受けられるようにして参ります。
	2	○		基準よりも多く配置しておりますが、複数の職員が送迎に出る場合は、出勤人数を増やしたりするなどして適切な配置数になるよう配慮しております。	職員の増員は今後の検討課題とし、有資格者の配置を継続して、児童や保護者様が安心して利用して頂ける環境づくりを目指して参ります。
	3	○		現在車椅子利用の児童は受け入れておりません。2階建てですが、1階はフラットで手すりなどバリアフリー化の配慮は適切にされています。	2階で療育の際は、階段の昇降には職員も付き添って対応します。今後も継続して適切な対応を心掛けて参ります。
	4	○		全職員参加で意見を出し合う機会を確保し、現状の把握と、目標設定や業務改善を設定しております。	今後も全職員の認識一致を図るため、療育内容の確認や、情報共有と意見交換を行って参ります。
業務改善	5	○		定期的に保護者様にはアンケートの協力をお願いし、ご意向を把握することで改善に繋げております。	今後も保護者様から頂いたアンケートをもとに全職員でご意見を真摯に受け止め業務改善に努めて参ります。
	6	○		保護者様からの評価並びに事業所の自己評価の結果は、COMPASS公式Webサイトで公開しております。	今後も毎年ウェブ上で自己評価の公開を行って参ります。
	7	○		現時点では第三者による外部評価は行われていません。	第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。
	8	○		コロナ禍のため今年度の参加機会は減っておりますが、従来は積極的に参加し、参加した職員が事業所内に周知するように努めています。今年度は本社で企画制作された研修動画を各職員で視聴することで資質の向上に努めています。	今後も積極的に研修会に参加し、視察するなど、常に全職員の資質の向上を図って参ります。
適切な支援の提供	9	○		利用開始前や定期的に保護者様に説明と確認を行っており、課題を把握した上で児童の状況や保護者様のニーズ等掌握した情報を支援計画に反映させるように努めています。	今後も継続して、児童や保護者様の意向や、児童の課題を適切に反映させた支援計画を作成して参ります。
	10	○		標準化されたアセスメントシートを使用し、その内容をもとに支援計画の作成へと繋げております。	今後も継続して、適切に行って参ります。
	11	○		活動内容については支援計画をもとに職員間で話し合い意見を出し合いながらチームで立案しています。	今後も支援計画に沿った支援が行われるようチームで立案を行って参ります。
	12	○		基本的に職員間で連携を取りながら活動しておりますが、対応する担当職員が工夫や関わり方で変化を促すことで、固定化しない活動内容を工夫しております。	今後も平日の活動と長期休みの活動や季節ごとの行事や制作も取り入れて、固定化しないよう工夫して参ります。
	13	○		平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	今後も平日・休日・長期休暇の時間に応じた課題を設定することで児童が楽しく課題に取り組めるよう配慮して参ります。
	14	○		個別活動と集団活動の両方を特性、発達段階、年齢、保護者様のニーズに応じて、計画的に組み込んでおります。	今後も継続して、それぞれの活動を合わせた支援計画を作成して参ります。
	15	○		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	今後もミーティングを継続し、情報共有に努めて参ります。
	16	○		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	今後も打ち合わせを行い、共通理解を図って参ります。
	17	○		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	今後も同様に日々の記録を記入し、支援の検証・改善を行って参ります。
18	○		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	今後も同様に、モニタリングと支援計画の見直しを行って参ります。	
関係機関や保護者との連携	19	○		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせながら支援を行っている	今後も継続して、項目の選択や支援内容が適切なものになるよう努めて参ります。
	20	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	現場の意見も十分に児発管が把握して、より質の高く今後も同様に児発管が参加致します。
	21	○		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	今後も学校と情報共有を行い、共通理解に努めて参ります。
	22	○		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索して参ります。
	23	○		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	今後も積極的に関係機関との情報共有を行い、児童の課題に適した支援を行って参ります。
	24	○		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	今後、該当する児童があった場合、関係機関等へ支援内容や活動報告等の情報を提供し、連携に努め、児童の移行先での活動に役立てて頂けるように努めます。
	25	○		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	今後も関係機関とは積極的に連携を取り合い、研修や助言を受けるなど、事業所との繋がりを大切に参ります。
	26	○		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在はコロナ禍であること、時間的にも交流会の開催は大変難しいため、保護者様のご意向を伺いながら、今後の検討課題と致します。
	27	○		(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	今年度は、コロナ禍のため会議等への参加機会はありませんでした。
保護者への説明責任等	28	○		児童の事業所での様子や療育内容は、日々の連絡帳に記載しております。また、送迎時にはできるだけその日の児童の様子をお伝えするよう心がけており、保護者様との共通理解に努めております。	今後は更に取り組んだ課題や達成したことなど、より丁寧な説明をして参ります。
	29	○		保護者様から子育てのお悩みや児童との関わり方についてご相談を受けた際には、丁寧に助言・アドバイス等を行っております。	今後も継続して保護者様のお悩みに寄り添う支援を行って参ります。
	30	○		契約時に説明を行い、内容の変更があった際にも、保護者様に安心して頂けるように、わかりやすい言葉を使い丁寧に説明しております。	今後も保護者様に安心して利用を継続して頂けるように、丁寧な説明をして参ります。
	31	○		連絡帳でのやり取りや送迎時の機会を通じて、保護者様からのご相談やお悩み等を丁寧に聞き、助言やアドバイス等を行っております。ご相談等に関しては、職員間で共通理解を図り、保護者様にも安心してご相談頂ける環境づくりに努めております。	今後も継続して保護者様からのご相談やお悩み等をお聞きし、安心してご利用していただけるよう配慮して参ります。
	32	○		コロナ感染症予防の観点から、今年度は父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催機会はありませんでした。	保護者会等の開催についてはコロナ終息後に、保護者様のご意向を伺いながら検討して参ります。
	33	○		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	今後も、児童や保護者様に安心して継続してご利用頂けるように努めて参ります。
	34	○		公式ウェブサイトにて、月1回程度、当事業所の様子をお伝えしております。また年4回季刊誌を発行し、季刊誌では職員間で話し合い、事業所情報でできるだけ詳しくご紹介するように努めております。	今後も定期的な情報発信を行って参ります。また、できるだけ見やすく親しみを感じて頂ける内容にしていけるよう検討して参ります。
	35	○		個人情報については鍵付きの書庫に保管して管理を行い、書類等を破棄する場合には、シュレッダーを使用する等、全職員が常に細心の注意を払っております。	今後も継続して個人情報の扱いには十分注意して参ります。
	36	○		常に意思疎通には配慮し、契約時や日々の児童の様子についてもできるだけわかりやすい言葉を使用するように心がけております。主に連絡のやり取りには連絡帳を使っており、送迎時には直接保護者様とお話できるため、より詳しい内容をお伝えしております。	今後も継続して、児童や保護者様との意思の疎通や情報の伝達に努めて参ります。
非常時の対応	37	○		今年度は地域住民をご招待する等の企画運営の機会はありませんでした。	現在はコロナの感染拡大防止の観点から行っておりません。コロナ終息後に保護者様のご意向を伺いながら検討して参ります。
	38	○		緊急時の各種対応マニュアルについては、事業所入り口の壁面に設置しております。いかなる状況でも対応できるようにきちんと計画を立て訓練を行うことで全職員が対応できるように努めております。	今後も継続して訓練を行い、緊急時には、全職員が対応できるように努めて参ります。
	39	○		児童の安全を第一に考え、風水害、火災、地震、防犯対策を行い、全職員の共通理解のもと、定期的に訓練を行っております。	今後も継続して訓練を行い、緊急時には全職員が対応できるように努めて参ります。
	40	○		虐待防止のため、定期的に児童への対応については職員間で話し合いを行う、支援中にも職員を掛け合うことで全職員が周知徹底に努めています。	今後は社内・社外を問わず、研修会を開催できるような機会を検討して参ります。
	41	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様の同意を得ております。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者からの同意を得て、個別支援計画に記載して参ります。
	42	○		アレルギーについては保護者様より面談時に詳しい情報を頂いております。全職員で丈夫共有を行い、共通理解と共に、定期的な情報確認を行っております。	今後も継続して保護者様から情報を頂いて、全職員で共通理解を図って参ります。
	43	○		ヒヤリハットはすぐに全職員で確認を行います。その後記録して定期的に事例を振り返り、対応について話し合うことで再発防止に努めております。	今後も継続して、ヒヤリハット事例を作成し共通理解に努めて参ります。

○の「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。